

第2次吉野町

観光振興計画

概要版



令和7(2025)年3月

吉野町

第1章 計画の概要

策定の目的

本計画は、吉野町の観光振興における役割分担を明示し、「めざすべき将来像」を達成するための施策を実現可能な形で掲載しつつ、「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の「持続可能なマネジメント」、「社会経済のサステナビリティ」、「文化的サステナビリティ」、「環境のサステナビリティ」に取り組むことで、持続可能かつ世界基準の観光地域づくりを行うことを目的としています。

第2章 観光の動向と本町の現状・課題

現状と課題の整理

観光動向や調査結果から、国内及び吉野町の観光振興における現状と課題を整理しました。

- (1) 現状
- ①国内及び吉野町のインバウンド観光需要は回復傾向にある
 - ②吉野町外から吉野町への公共交通は充実している一方で、吉野町内の2次交通が不足している
 - ③インバウンドが増加する中、受入環境の整備が追いついていない
 - ④観光の閑散期における店舗や宿泊業者の休業が目立つ
 - ⑤観光客受入のためのインフラ整備が不足している地域がある
 - ⑥地域観光データの収集方法が統一されていない、収集データ数が十分ではない

(2) 課題

各観光地への
2次交通整備

インバウンドへの
対応力向上

閑散期の
観光力向上

人材不足の解消

インフラの整備

効率的・効果的な
データ収集の実施

第3章 観光振興の方向性

めざすべき将来像

世界が訪れる「吉野」

～先人の想いを未来へ繋ぐ、「稼ぐ」通年型観光地への挑戦～

吉野の自然美、歴史、文化を最大限に活かし、地域と観光客が一体となり、さらに公民連携を実践しながら未来へ続く持続可能な観光地域づくりを進めていきます。この観光地域づくりを推進することで、観光による経済効果を地域経済の活性化、観光資源の維持・発展、次世代を担う人材育成、ひいては地域社会の持続可能な発展に繋げることを目的とします。

先人が築き上げた豊かな自然と文化を将来世代へ継承しつつ、インバウンド誘致を見据えた国際的な観光地を目指していくことが、吉野町の観光地域づくりによる挑戦です。

さらに、閑散期の誘客を進めることで、季節性を抑えた通年型観光地を目指します。これにより、観光地としての「稼ぐ」力を高め、体験施設や飲食店、土産物店などをはじめとした地域の事業者にも経済効果がもたらされます。あわせて、企業誘致の機運が高まっている現状を活用し、公民連携で地域の基盤を強化していきます。

また、稼ぐ観光地を目指すためには、詳細な町内観光データの収集と分析が不可欠です。観光客の動向やニーズを各事業者のデータから把握し、その分析結果に基づいた最新の観光戦略を継続的に立案することで、より効果的な観光振興を実現します。

吉野町における観光の拠点である吉野山の桜・神社仏閣はもちろんのこと、国栖の里・宮滝地区の伝統文化・歴史や、津風呂湖・龍門地区の自然・アクティビティを活かし、また夏季における上市地区の集客ポテンシャルを十分に活用し、広域的な観光振興を推進します。

これらの取組を通じて、国内のみならず世界中の人々が訪れたい魅力的な観光地「吉野」を目指します。

第4章 基本方針・施策

基本方針と施策体系

本計画では、観光振興によって吉野町の経済活性化と持続可能な観光地を目指すことを目的として、「稼ぐ」、「整える」、「残す」の3つの基本方針に沿った施策を展開します。

「稼ぐ」の施策体系

基本方針	施策の分類	施策	
稼ぐ	インバウンド・富裕層誘致	ターゲット国へのPR強化	
		周遊性の高い事業の企画・実施	
		インバウンドや富裕層向けの伝統文化体験事業の構築	
		富裕層向けPR強化	
	観光マーケティングの推進	閑散期における集中的なターゲット誘致	
		PRの効果測定実施	
		旅行実態の適切な把握・分析	
	閑散期の観光力向上	レイクスポーツをはじめとする、自然景観を活かしたスポーツツーリズム振興	
		町内観光資源の発掘・磨き上げ	
		体験施設・場所の整備	
		定期的な夜間イベントの開催	
		チャレンジショップの開催	
		泊食分離の推進	

「整える」の施策体系

基本方針	施策の分類	施策
整える	2次交通の整備	吉野山における2次交通の充足検討
		近鉄吉野線の町内各駅から各観光地を結ぶ移動手段の検討
		無償運送・ライドシェアの導入検討
	情報発信基盤の整備	町内観光情報のポータルサイトの運営
		町内観光データ収集の徹底・効率化
		デジタルマーケティングの推進
		多言語対応の案内整備
	観光従事者支援	「観光」に関する起業を応援・支援する施策づくり
		公民連携での宿泊事業者誘致
		キャッシュレス決済環境の整備
		吉野地域DMO推進会議の継続実施
	インフラ整備	案内サインの整備(新設、改良、多言語化)
トイレ、駐車場、道路などの整備		
防災体制の整備		

「残す」の施策体系

基本方針	施策の分類	施策
残す	歴史・文化の継承	事業承継・担い手育成支援
		学校やコミュニティでの継承教育
		体験事業施設の設立検討
		宮滝遺跡の保全・活用
		世界遺産・日本遺産の保全
		自然環境保全
	自然環境の保全活動継続	
	桜保全活動の継続	

第5章 推進体制と役割分担

推進体制と役割分担

持続可能な観光振興を実現するため、吉野町観光振興における関係者を核とした推進体制を構築します。この推進体制のもとで、本計画の重要戦略や各施策の実現可能性を高めるために、関係者それぞれの役割分担を明確にして観光振興を推進します。



